

平成28年第6回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	平成28年6月29日（水曜日）午後1時47分から4時15分まで
会議開催の場所	市役所503会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件は非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・矢次健志・島村由起男・清水慶育・神山好子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 野村泰平・教育部参事 島津芳久・教育総務課長 鈴木雅広・学校教育課長 中村公一・学校教育課副参事 稲村浩之・生涯学習課長 関根俊介・生涯学習課副参事 中平薫
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主査 菊地誠治
傍聴者数	2人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・議案第41号から第45号・配布資料一覧

議題及び決定事項等

- 議案第41号 日高市横手台グラウンド条例施行規則
原案どおり可決
- 議案第42号 日高市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第43号 日高市英語助手の任命について
原案どおり可決
- 議案第44号 日高市社会教育委員の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第45号 日高市教育委員会職員の人事について
原案どおり可決

会議の経過

- 1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認
 - 2) 教育長の報告の要旨
 - 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。
 - その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。
 - 3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨
- 【教育長報告関連】

(委員) 公共施設等総合管理計画について、人口の見通しで平成 27 年の段階で 57,249 人である中で、平成 28 年 1 月 1 日以降の人口が 57,000 人を割り込む状況(平成 28 年 6 月 1 日現在 56,778 人)により既に計画との乖離を生じている。施設の統廃合及び適正化を検討していく上で、必要な情報となる各地区の人口分析及び今後の更新費用についても財源不足額などが乖離していくことにより、計画上の数値について、問題があるのではないか。

(教育部長)

計画策定段階の推計であるため、各年度の数値の変動はあり得る。現状では、グラフの増減傾向などを重視していただきたい。今後、教育施設の適正化については、教育委員の皆様を含め議論を重ねていきたいと考えている。

(委員) 教育施設の適正化について、例えば統廃合の方針など概略は決定しているのか。

(教育部長) 現時点で公表できる様な方針はない。現在、調査を進めている中で、様々な意見を集約し、今後定めていくこととなる。

(委員) 方針の決定にあたっては、教育委員として、意見を述べる場が計画決定だけでなく、策定段階から議論に関われるように配慮してほしい。

(教育部長) そのように進めていく予定となっているため、ご理解ご協力をお願いしたい。

(委員) 教育施設の適正化について、今後、人口が増加することは考えにくいので、現実的に統廃合もやむを得ないと思われる。その際、近隣の先進事例(小中一貫校、統廃合など)について、メリット、デメリットを研究する必要がある。また、市の中でモデル地区を選定し実施して、メリット、デメリットを研究してみるのも良いのではないかと。

(教育長) 現実的に統廃合などの可否について、検討していくこととなるので、近隣事例など研究を進めていく。

(委員) 武蔵高萩駅構内の「えきとしょ」開設について、地区的に図書館から離れている地区でもあり、「えきとしょ」にとどまらず利便性を図る様々な方策を検討していただきたい。

(教育部長) 了承。

【教育長報告：資料 1 関連】

(委員) 小中学校等校長・教頭候補者選考について、年代別教員人口が少ない世代であり志望者が減っていると、前回会議で説明を受けているが、校長職が不足することはないのか。

(教育長) 現時点では、教頭が余っている状況であるが、今後、現在の校長世代が、一斉に退職を迎えるため、逆に校長職数に余裕が生じる時期も到来する。

(委員) 病気休職者について、過去5年の伸びが増加しているが、急激に増加している傾向であるので、危惧すべき事案と考える。

(教育長) 早い段階でケアすることが必要と考えており、注意していく。

(委員) 教員の年齢構成について、家庭訪問などで感じることであるが、ベテランの教員は、指導経験年数を重ねているためか、子どもたちの良い面を様々な角度から見つけて指導してもらえるが、若い教員については、経験不足からか、良い面をとらえることを軽視しているように感じられる。ぜひ良い面をとらえて、子どもたちや保護者に伝える努力をしてほしい。

(教育長) 非常に重要な意見をいただきありがとうございます。

【教育長報告：資料2 関連】

(委員) 議会の一般質問である小1プロブレムの取り組みについて、答弁内容を教えてほしい。

(教育部参事) 小1プロブレムの取り組みについては、幼稚園及び保育園(所)に出向いて情報交換、また、保育園児などを小学校に招いて一緒に学習活動をするなど事例を紹介したところである。

(委員) 現状として、幼保連携に取り組んでいるとは思いますが、取り組みが弱いと感じている。ここをしっかりとすれば中1ギャップについては、減らすことが可能と考えられるので、取り組みを強化してほしい。

(教育部参事) 了承。

(委員) 不登校の現状について、割合ではなく人数はどうなっているか。

(教育部参事) 小学校は5名増、中学校は10名減となっている。実質横ばい状態である。

(委員) 地域によって差はあるのか。

(教育部参事) 資料を後日用意する。

(委員) リプロダクティブ・ヘルス/ライツについての答弁内容を教えてほしい。

(教育部長) 大きな視点では、男女共同参画に関するものであるが、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念について、広く周知するため公民館などで講演を実施している取り組みなどを紹介したものである。教育委員会のみではなく市長部局すべてで取り組む問題であるので、市全体で取り組んでいくというものである。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第41号について

(委員) 第5条中の「遅滞なく」について、具体的な日数の表記ではなく、他の規則等も同様な表記となっているのか。

(生涯学習課長) 他の規則と同様である。

非公開審議

議案第 42 号について 質疑なし

議案第 43 号について

(委員) 英語指導助手について、該当者の評価を踏まえた再契約であるか。また、再契約のシステムは、双方の合意ではなく、本人の希望があれば再契約が可能となるのか。

(教育部参事) 毎年、人事評価を行っており、評価と併せ本人の希望による再契約である。システムとしては、2年間満了後、1年間延長で最大3年間の契約が可能であるが、評価内容に伴って再契約しない場合もあり得る。

(委員2) 指導助手の指導方法について、例えば、授業中に英語を使用すべきところ日本語を使用しているなど、一部不適切ではないかと感じられる場合があった。

(教育部参事) 指導を徹底していきたい。

(委員3) 指導助手の指導能力及び英語能力について、子どもたちが英語に親しむ機会を設けるといふ趣旨は理解するが、日本の学校制度の中での授業方針及び受験システムにそぐわない場合、日本での指導方法の研修などが必要ではないか。

(学校教育課副参事) 研修は現在でも実施しているが、再度徹底していきたい。

委員 1 名退出

議案第 44 号について 質疑なし

議案第 45 号について 質疑なし

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○ 7 月定例会：7 月 20 日（水曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承

○ 8 月定例会：8 月 22 日（月曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承

(2) その他連絡事項

○ 日高市中学生海外派遣事業

壮行会 7 月 24 日（日曜日）午後 4 時 00 分から 【市役所 501 会議室】

帰国報告会 7 月 31 日（日曜日）午前 9 時 00 分から 【市役所 501 会議室】